

委員会報告

親睦活動委員会

植田英明委員長

- ・9月1日に行います会員家族会の詳細を各自トレーに入れていきますので御覧下さい。次週より再度出欠表を回覧しますのでよろしくお願ひします。

創立60周年記念委員会

新井康司60周年副委員長

- ・各自トレーに60周年記念事業の詳細、進捗状況をまとめたものを入れていきますのでご覧ください。

しょうわ会

西嶋 聡会員

- ・先週お知らせしましたしょうわ会の出欠表を回覧します。8月23日(木)午後6時30分よりこの例会場で行います。

社会奉仕委員会

長井保夫幹事

- ・薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金への2回のポケットコインご協力ありがとうございました。合計16,343円となりました。丸い数字にして送金したいと思います

プログラム

『扇ヶ浜を軸に考える 田辺市の観光』



田辺商工会議所青年部

会長

柏木 壮太 様

副会長

野中 功治 様

現在の扇ヶ浜海水浴場の歴史についてお話したいと
思います。扇ヶ浜海水浴場は、平成17年にリニューアルオープンしました。初年度の来場者数は、4万3,000人でした。数年間横ばいの状況が続いていましたが、平成21年にイルカふれあい事業が始まり、10万人を突破することになりました。

この様に、来場者数は年々順調に増加していたのですが、昨年は、東日本大震災の影響で海から足が遠のいたこと、また、多くの集客が期待できる週末に台風が重なったこともあり、来場者が5万人にまで激減してしまいました。

田辺市全体では、世界遺産に登録されている熊野古道や龍神温泉など様々な観光スポットを有していますが、旧田辺市では扇ヶ浜は貴重な観光資源であると考えています。

ただご存じのように、隣町白浜には白良浜という海水浴場があります。扇ヶ浜は、この全国有数の海水浴場

を相手に集客を考えなければなりません。

扇ヶ浜海水浴場は、駅から徒歩10分と近く、無料のシャワー室を完備しています。そして白浜にはない大きな特徴は、400台収容可能な大型駐車場が



あることです。このような利点を生かし、青年部では、扇ヶ浜を家族でゆっくり楽しめるファミリービーチとして利用していただけるよう、観光協会をはじめとした関係団体と連携を取りながら盛り上げていこうと考えています。

次に、我々青年部の扇ヶ浜における活動をお話したいと思います。扇ヶ浜には平成17年に海水浴場がオープンした当初より、観光協会からの委託をうけての海の家の運営、ビーチサッカー大会の開催、扇ヶ浜のタバやイルカふれあい事業への参画など、扇ヶ浜で行われるイベントの殆どに参加しています。



また、青年部では昨年来場者が5万人と激減したことをうけ、4月より扇ヶ浜活性化委員会を組織し、集客のテコ入れ・広報活動の充実を図ろうと活動しています。

委員会では、まずPR活動に力をいれようと考え、K i i L i f eに観光協会・イルカふれあい事業・南紀みらいと連携して広告を掲載いたしました。また、紀の川サービスエリアにおいて海水浴場PRチラシを9,000枚配布いたしました。また、様々な集客イベントも検討し、8月5日には「弁慶流しそうめん」と題したイベントを行い、現在イベント企画会社と連携し、フリーマーケットや今流行りのお見合いイベントを開催するよう企画しています。

青年部としては、扇ヶ浜に来られた方を市街地へ回遊させることが最大の目的です。市街地には、鬮鶏神社をはじめ南方熊楠顕彰館などの歴史施設や商店街があります。商店街では、ヤーヤーまつりや100円商店街、バルなど様々なイベントが開催されています。そういった歴史施設や商店街のイベントと連携しながら、扇ヶ浜の海水浴客を市街地へ促すこと、そのことが市街地の大きな活性化に繋がると考えています。

扇ヶ浜海水浴場は魅力ある資源と考えています。扇ヶ浜が海水浴客で賑わい、既存の商店のみならず、そのお客様に目をつけマリンスポーツや新たな商売ができる。そして相乗効果で増えたお客様を宿泊させる施設が潤い、宿泊客で味光路が潤う。最終的には田辺市全体の活性化に繋がります。

最後に、若さとがむしゃらな行動力だけが武器の私たちですが、先輩方に恥じぬよう頑張っ参りたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

御清聴ありがとうございました。

